別紙2

グループホーム　ことほぎ庵

目標達成計画

作成日：令和　2年　4月　18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策について 定期的にあらゆる災害に対して避難訓練を実施しているが、実際の災害発生時に避難方法や避難ルートの確立を実践する困難さがある。	職員一人一人が避難方法や手段を理解し実践できるようにする。 夜間想定した避難訓練の実施。 非常持ち出し、保管場所の再検討。	定期避難訓練の実施。 夜間想定した避難訓練の実施。 あらゆる災害に基づいた避難訓練の実施。 その状況に応じてマニュアルの見直しの実施。	1ヵ月
2	52	居心地の良い共用空間の工夫 感染症にによる対策として居心地の良い空間やコミュニケーションの確保に問題が生じる状況が予測される。	感染症の予防を厳重に行い、生活環境を大きく損なうことなく自然体に対策を講じていく。	情報収集。マニュアル作成。職員に周知徹底の方法の確立。実践方法の具体的指導。等細かく実施し職員の自覚を継承する。	1ヵ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。